

平成30年3月新規学校卒業者の積極的な採用と求人票の早期提出並びに
魅力ある職場づくりのお願い

新規学校卒業者の就職対策につきましては、日頃から格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、県内の新規高校卒業者の平成28年度の就職内定率は、3月末時点で99.4%となり、過去10年で最も高かった平成27年度の99.2%をも上回る水準となりました。また、県内の新規大学等卒業者の平成28年度の就職内定率も、4月1日時点で95.2%となるなど、新規学卒者の就職状況の改善が見られます。

このことは、関係機関並びに県内企業の皆様の御理解、御協力のもと、採用枠拡大の取組を進めていただいたことによるものと深く感謝申し上げます。

例年、県内企業の新規高校卒業者を対象とする求人活動の開始は、県外企業と比べて遅い傾向にありましたが、平成28年度においては7月末までに8割以上の提出をいただき、求人数も過去10年間で最も多くなったことで、就職を希望する生徒に対し、進路選択に当たっての豊富な求人情報を提供できたことが就職内定率の向上につながったものと考えます。

加えて、昨年度は高校生の県内就職率も若干、向上しており、この点でも県内企業による求人票の早期提出が少なからず功を奏した面があると考えています。

とはいえ、本県はかねて人材流出の傾向が根強く、とりわけ高校卒業を機に、就職者の約4割、進学者の約8割が県外に仕事や学びの場を求める状況が依然として続いています。今後さらに、少子化の影響で若年労働力が一層、減少していくことが見込まれる中では、県内企業の成長や地域の産業振興にとって、人材確保の如何がその制約要因となるだろうことは否めません。

高校生の県外就職など人材の流出傾向には、他県と比べた初任給水準や就業機会の格差が少なからず影響していることから、県及び関係機関による産業振興や人材確保に向けた取組と歩調を合わせ、各機関傘下の企業等におかれても、人材の定着・確保へ向けた働き方改革など魅力ある職場づくりに取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、各公共職業安定所では、来春高校卒業予定の生徒を対象とする求人の受付を6月1日から開始します。本年におきましても、採用枠の拡大と推薦開始前の校内選考の時期（7月下旬）までに求人票の提出をお願いします。高校生の選考開始時期まで約4か月となることから、各企業におかれましては早期に大学・短大生等と高校生の採用計画を立てていただき、それぞれ積極的な採用をお願いします。

以上、貴協会加盟企業の皆様方に対し、会議・会報等あらゆる機会を通じ呼びかけていただきますよう、特段の御配慮をお願いいたします。

平成29年5月15日

佐賀県中小企業団体中央会会長 内田 健 様

佐 賀 県 知 事 山 口 祥 義



佐賀県教育委員会教育長 白 水 敏 光



佐 賀 労 働 局 長 松 森 靖

